



## 三豊産 100%エキストラバージンオリーブオイル販売開始 !!

仁尾オリーブ生産組合 (代)柴坂詔弘

平成 27 年 1 月 30 日  
三豊市農業振興課  
Tel (0875) 73-3040

### <これまでの経過>

ミカン農家らで構成する仁尾オリーブ生産組合は、オリーブの生産を行うことによって農業所得と耕作放棄地の解消を目的として平成 22 年 10 月に設立。その後、仁尾町内の耕作放棄地や遊休農地を中心にオリーブの生産拡大に取り組み、現在、約 4.4 ヘクタールでオリーブの栽培管理を行っています。

そうした中、苗木も順調に生育し、昨年秋にオリーブオイル用果実（品種：ルッカ）の収穫が一定量以上あったことから、今回、初の商品化となりました。

なお、新漬け用果実（品種：ミッション）の販売は 2 年目となっています。

今回商品化できた三豊産エキストラバージンオリーブオイル“あかつき”については、「かがわオリーブオイル品質表示制度（香川県産で高品質のオリーブオイルを県が認証する仕組み。）」において、最高位であるプレミアムの認定を受けています。

柴坂詔弘組合長は、「今後は、6 次産業化の本格化に向け、栽培面積の拡大や加工場の整備を計画している。オリーブを三豊市の新たな特産品に育てたい。」と話しています。

本市としては、特に、遊休農地を活用して、将来性のあるオリーブなどの生産振興を通じた 6 次産業化に取り組む農家に対しては、全力で後押ししたいと考えています。



あかつき



一粒一粒丁寧に手積みで収穫したオリーブを絞った、100%三豊産エキストラバージンオリーブオイル“あかつき”いよいよ解禁。webshopにて限定販売（3,840円税別）。

<http://www.mitoyo-olive.com>

## 「かがわオリーブオイル品質表示制度」が始まります！

発表日：2014年10月27日

香川県産の果実から採油され、品質基準に適合したオリーブオイルにその旨を表示する「かがわオリーブオイル品質表示制度」を創設し、本年産のオリーブオイルから品質表示が行われます。オリーブオイルに品質を表示する制度は、全国で初めての取り組みです。

### 1 制度の概要

この制度は、香川県産オリーブオイルについて、県が定めた品質評価基準に適合した製品であることを表示することにより、香川県産オリーブオイルに対する消費者の信頼を高め、その普及と需要拡大を図り、もって、本県オリーブ産業の振興に資することを目的とするものです。

### 2 対象となるオリーブオイル

香川県内で栽培されているオリーブ樹から収穫されたオリーブ果実のみを原料として、県内で製造されたオリーブオイル。

### 3 表示ロゴマーク

オリーブオイル製造事業者（認定製造事業者）は、指定検査機関で品質評価基準に適合することが確認された製品について、自らの責任において、オリーブオイルの容器包装等にロゴマークを表示することができます。

プレミアムマーク

スタンダードマーク



↑  
仁尾オリーブ生産組合のオリーブオイルが獲得した品質

品質評価基準

品質項目		エキストラバージンオリーブオイル	
		スタンダード基準	プレミアム基準
化学検査	酸度	0.80以下	0.30%以下
	過酸化物価	20.0meq/kg以下	15.0meq/kg以下
	紫外線吸光度(K232)	2.5以下	2.5以下
	紫外線吸光度(K270)	0.00以下	0.00以下
	紫外線吸光度(ΔK)	0.01以下	0.01以下
官能検査	欠陥地の中央値	0	0
	フルーティーさの中央値	0以上	1以上
	苦味	-	0以上
	辛味	-	1以上

# 三豊市のオリーブ栽培について（情報提供）

平成 26 年 11 月 1 日現在

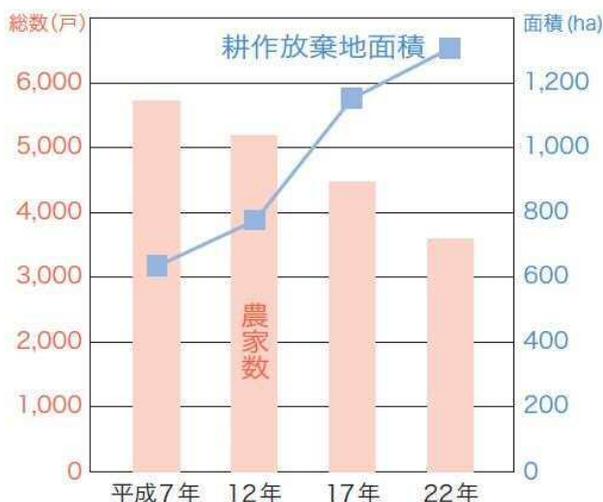
## 1. なぜオリーブを推進しているのか

農家の高齢化や後継者不足から果樹園を中心に耕作放棄地の増加が急激に進んでおり、農地や景観の保全、鳥獣被害の防止等の観点から、これの解消が大きな課題となっています。

一方、オリーブについては、国産品の需要が伸びて、生産量の拡大が望まれており、耕作放棄地を活用して生産量を増大させることが農家の経営安定や地域農業の活性化につながる一方策であると考えています。

そのため、本市では平成 22 年度から主に耕作放棄地を対象に「新たな担い手」によるオリーブの作付拡大を積極的に進めています。

### 農家数と耕作放棄地面積の推移



## 2. 市内におけるオリーブの栽培状況について

本市における本格的なオリーブ栽培については、平成 22 年度に 2 つの生産者組合（任意団体）が組織され、耕作放棄地再生事業を活用しつつ、オリーブの作付拡大（平成 22 年度に 2.3ha、平成 23 年度に 2.2ha、平成 24 年度に約 90a）を図っており、オリーブメーカーの仲間入り（早期のオリーブの経済栽培）を目指して取り組んでいます。

また、高瀬町上麻地区内の耕作放棄地対策を進めていたところ、小豆島でオリーブの 6 次産業化に取り組む農業生産法人（㈱アライオリーブ）とのマッチングにより、平成 25 年 1 月に約 5ha の賃貸借契約が成立。当該法人は、地区内の遊休農地の受け皿となる担い手としての地域合意も行っており、現在はマザーファームの整備を進めています。本市オリーブ振興の指導・牽引役としても大いに期待しているところであります。

更には、今年 3 月、オリーブの 6 次産業化と荘内半島の振興を目的として、新たな農業生産法人（合同会社荘内半島オリーブ農園）も誕生。現在は、来春の苗木の定植（1.5ha）に向けて耕作放棄地の再生作業等を計画的に進めているところです。

### ■三豊市内のオリーブ栽培面積（平成 26 年 4 月 1 日現在の定植面積）

全体面積	内訳		
	高瀬オリーブ生産組合	仁尾オリーブ生産組合	㈱アライオリーブ
12.9 ha	1.1 ha	4.3 ha	7.5 ha